



とさすくだよい

2021. 5. 25 NO3の1
高知県教育委員会幼保支援課



ネットワークを広げよう！親育ち支援のあり方

3会場に分かれて開催された研修会には、100名近くの先生方に参加していただきました。園全体で行う親育ち支援の大切さ、担当者の役割等について確認し、子どもや保護者の実態に基づいて、年間研修計画の作成をしました。また、保護者支援ですぐに使える、アイスブレイクやチラシ作りもしました。

親育ち支援担当者とは？

園全体で親育ち支援を進めていくための中心的な存在。まずは、園や保護者の実態・状況を知ることが大切になります。

具体的な役割とは？

- ◆保育者の親育ち支援力向上のための研修計画・実施
- ◆気になる家庭の支援リスト作成や家庭支援の計画と記録の整備
- ◆支援の必要な子どもや家庭について共通理解する場の設定
- ◆関係機関とのつなぎ
- ◆保護者への直接的なアプローチや講演会・研修会の計画・実施
- ◆保護者の相談窓口
- ◆子どもの育ちを保護者に伝えるための環境づくり
- ◆子育てに関する情報発信
- ◆親子や保護者交流の場の設定

年間研修計画の作成



子どもや保護者の実態は？保育者の悩みや困りごとは？自園の実態をもとに、年間の研修計画を立てましょう。

★年間計画を立てて、グループで交流しました。他園の取組を知ることで、自園の取組の振り返りにもつながりました。

参加者の感想

担当者として

- 自分の役割がわかり、何をすべきか方向性が明確になった。
- 親の立場で考えることの大切さを改めて感じ、職員同士の共通理解が大切だと感じた。
- 研修計画を立てることで、園全体での取組や学びができる。
- 研修計画は無理に新しい活動を取り入れなくても、今ある活動に明確な親育ち支援のねらいを立てて計画するとよいことが分かった。

実践発表、チラシ作り

- 新しい生活様式の中で園と保護者、保護者同士のつながりをどのようにもたせるか、実践方法が参考になった。
- 他者の意見を取り入れながら1つの物ができあがる喜びを感じたので自園でも取り入れたい。

チラシ作り



保護者が見て「行ってみたい！！」
と思えるようなチラシとは？
保護者との協働を目指しましょう。

★グループで工夫を凝らし、楽しんで
作りました。

